

松山踊り

備中たかはし

特集
学校統合で議論が白熱！

6月定例会開催

委員会報告

一般質問（ここが聞きたい！）

第7回議会報告会

行政視察

⑬ ⑫ ⑥ ⑤ ④ ②

- 平成27年 5月 「中学校統合に関わる小中学校PTA懇談会」で備中中学校統合のあり方について意見交換
- 平成27年 7月 小学校PTAアンケート調査実施。
- 平成27年 8月 「小学校保護者全体会」では早期統合という意見でまとまった。
「小中学校保護者懇談会」において教育委員会から平成29年4月統合案が提案されたが、保護者の意見は一致しなかった。
- 平成27年10月 「小学校臨時PTA総会」において平成29年4月統合の決議がなされた。
- 平成27年11月 「小中学校PTA懇談会」が開催されたが意見は一致しなかった。
- 平成27年12月 「中学校臨時PTA総会」において平成30年4月以降統合の決議がなされた。
中学校PTA会長名で意見書が教育長へ提出された。
- 平成28年 1月 「中学校統合に関わる小中学校保護者、地域住民懇談会」が開催され教育委員会から平成29年4月統合の方針が発表されたが、保護者、地域住民の意見は一致しなかった。
- 平成28年 2月 地域住民の署名423筆を添えた「嘆願書」等が市長、議長へ提出された。
- 平成28年 3月 3月定例議会には中学校統合の議案は上程されず、一般質問では市長から今後協議を十分に重ねていく旨の答弁があった。
- 平成28年 5月 「備中中学校に係る小中学校保護者懇談会」が開催されたが意見は一致しなかった。市民等の署名1177筆を添えた陳情書が市長へ提出された。田原地区住民との懇談会が開催されたが統合についての意見は一致しなかった。平成29年4月統合に反対する町内会長の陳情書が教育委員会、議長へ提出された。臨時教育委員会で中学校統合に関する議案が全会一致で可決された。
- 平成28年 6月 6月定例議会に中学校統合に関する議案が提案され、総務文教委員会では否決されたが、本会議で可決した。



学校統合で議論白熱!

備中中学校の成羽中学校への統合 委員会で否決! 本会議で逆転可決となる

昨年5月からPTAや地元代表者・団体との話し合いが行われてきた備中中学校の統合。教育委員会は、来年3月末の廃校を、5月31日の臨時教育委員会で議決し、これを受けて市長は、6月定例会に議案を提出しました。この議案について議論が巻き起こりました。

備中中学校の統合については、3名の議員が一般質問で取り上げ、地元団体からも、統合を白紙に戻す旨の陳情書が提出されるなど、議論が百出しました。

委員会で、賛成と反対が同数となり委員長裁決で否決されました。

本会議では7名が討論を行いました。反対討論では、「保護者や地元との合意がなされていない中での提案。教育委員会に提出された1177名

の署名を重んじるべき。保護者や地元住民の教育委員会への不信感が強い。高梁市の中教育はどうあるべきを議論し方向を出すべきだ」との意見がありました。

賛成討論では、「子ども達の未来と地域の課題は分けて考えなければならぬ。教育環境は早急に整える必要がある。小規模校を統合して集団の中で学ぶことは、中等教育のために必要である。教育委員会

で様々な観点から議論され決定されている。その経過を尊重すべきである。今議会で統合を決定し、早急に条件整備を行うべきだ」との意見がありました。採決の結果賛成10名、反対8名で可決しました。

今回の統合の議論を受け、市長は「本市の少子化が進む中、今後の学校のあり方は、様々な意見を聞きながら適切な時期に示していきたい。備中中学校の統合に向けては、

委員会報告 総務文教委員会では否決される

総務文教委員会では、来年4月の統合に決定した理由や、この間のPTAや地元との協議内容など、詳しい説明を教育委員会に求めました。

教育委員会からは、「生徒数が減少する中、統合は避けて通れない。PTAとの協議では統合時期について、平成29年4月、平成30年4月と2

つの意見があり、教育委員会で総合的に判断し、平成29年4月とした」との説明がありました。

討論では、「PTAや地元との合意が成熟する途中での決定で混乱が生じている。平成29年4月統合は性急すぎるので反対」という意見や、「早く結論を出して落ち着いて学習



高梁市立備中中学校沿革

昭和22年、学校教育法により備中地域では、平川村立平川中学校、富家村立富家中学校、湯野村立湯野中学校、湯野中学校西山分校が設置される。

昭和31年、備中町発足に伴い、備中町立平川中学校、富家中学校、湯野中学校、西山中学校と改名され、昭和37年の生徒数は4校合計で816名を数える。

その後徐々に生徒数が減少し、昭和55年に西山中学校と湯野中学校が統合され、湯野中学校が新築される。昭和62年には、平川中学校、富家中学校、湯野中学校が統合され、備中中学校が発足する。

平成28年4月1日現在の生徒数は全校で37名。

できる環境づくりが大切、中学校は社会性を養うために、ある程度の集団生活が必要なので賛成する」との意見がありました。

採決では賛成3名、反対3名となり、委員長裁決によって議案は否決されました。

6月定例会を開催しました

6月9日～27日

平成28年第4回高梁市議会（定例）が、6月9日から27日まで行われました。
市長提出議案のうち繰越計算書2件は報告を受け、専決処分1件は承認とし、残り8件は全て原案のとおり可決しました。議員発議の議案2件も原案のとおり可決しました。また、市民団体などから議会に寄せられた請願2件については1件を採択、1件を不採択とし、陳情1件は趣旨採択としました。

空間創出業務をCCCと随意契約

JR備中高梁駅横に建設中の高梁市図書館の書架・什器等を整備するための契約を、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と締結するための議案を審議しました。
委託金額は1億9900万円。この議案の採決に当たって2名の議員が反対討論を行いました。「先日の教育委員会の審議には、詳細な資料が提出されておらず委員からも議論できないという意見が出る中で議決された。差し戻して再度審議すべき」「高梁市図書館は、本を見せる空間創出として汎用性の無い物をデザインしている。2億円近い金額を払ってもなく随時契約で行うことは問題だ」との反対意見が出されましたが、賛成13名、反対5名で可決しました。

趣旨採択とは
請願（陳情）に対する議会の意思決定は、理論的に「採択」か「不採択」しかありません。しかし、議会としては請願（陳情）の願意については十分に理解できるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法のことをいいます。
※参考 最新版 地方議会用語辞典(ぎょうせい)



写真上：現在工事中の複合施設
写真下：完成イメージ

総務文教委員会

- ◎「高梁市税条例等の一部を改正する条例（専決）」については、「消費税を10%に引き上げることが前提の条例なので反対する」との意見がありました。賛成多数で承認されました。
- ◎「高梁市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」については、「地元合意・統合時期・子供の教育環境・教育委員会のあり方」について意見が多数出され、採決で可決となり、委員長裁決により否決されました。
（※2、3ページ参照）
- ◎「業務委託契約の締結について」は、「高梁市図書館の運営はCCCと随意契約が進められ公平性及び公正性に問題がある。」また「教育委員会の審議で説明資料が少なく論議できないという意見が出されており、情報公開の観点からも丁寧に行うべきで反対する」との意見がありました。賛成多数で可決されました。
- ◎「地方財政の充実・強化を求める請願書」については、国が定める地方交付税算定方法について、踏み込んだ記述があり反対するという意見があり、賛成少数で不採択となりました。
- ◎「陳情書『備中学校に係る統合問題』は地元合意のないまま進めることなく、白紙に戻すことを求める」について、提出者から「教育委員会は子ども達の教育環境についてよく考えてくださっている。しかし統合については、地元合意に至らず時期や条件等の話し合いが進められている途中である。これからも引き続き話し合いを続けて欲しい」との意見陳述があり、その思いは理解できると趣旨採択を求める意見があり、賛成多数で趣旨採択されました。

産業経済委員会

- ◎「無電柱化に関する法整備を求める意見書に関する請願」については、「電柱の倒壊が災害時の救助活動や消化活動の妨げとなる防災上の観点や、良好な景観形成という観光政策の観点からも、無電柱化に期待する」という理由で全会一致で採択されました。

市民生活委員会

- ◎「専決処分の承認を求めることについて」は、国民健康保険税の最高限度額の引き上げが、全体として加入者の税負担が増えるので反対との意見もありましたが、賛成多数で承認されました。
- ◎「高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」については、「当初予定していた基準外の繰り入れを行えば、国保税の引き上げを行わなくても済む。国保加入者の負担を減らすべき」との反対意見がありましたが、賛成多数で可決されました。



新図書館4階イメージ

6月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○=賛成 ●=反対 欠=欠席

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田	小林	柳井	川上	長江	植田	川上	宮田	大月	妹尾	難波		
専決処分の承認を求めることについて	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
高梁市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
業務委託契約の締結について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
「地方財政の充実・強化を求める」請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情書「備中学校に係る統合問題は地元合意のないまま進めることなく、白紙に戻すことを求める」 趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。
◎他の議案は全会一致で可決しました。

Q. 町内会組織の維持のための施策を

A. 町内会に関する対策を検討している



ここを聞きました

- 健康づくり事業について
- 地域コミュニティ、町内会組織について

健康づくりについて

内田 超高齢化社会を迎え、高齢化しても健康に過ごすことができ... 観音から高梁市では「健やかプラン21」を策定し「健寿の里たかはし」を目指している。基本理念の一つ「健康寿命の延伸」について、現状はどうなっているのか。

健康福祉部長 平成26年における平均寿命は男性80・4歳、女性86歳である。健康寿命は男性71・9歳、女性74・2歳である。「健康でない期間」は男性9年、女性12年と推定している。

内田 健康寿命の延伸のために、どのような取り組みを行っているのか。健康福祉部長 高梁市健康増進計

画に基づき、各種検診、特定検診、保健師による家庭訪問、健康教室など母子保健から介護予防と幅広く事業を行っている。また、愛育委員、栄養委員による地域に密着した健康づくり活動を展開している。

地域コミュニティ・町内会組織について

内田 少子高齢化、人口減少により10戸以下の町内会が43%あり、組織の維持・活動に限界が生じている。現状をどのように認識しているのか。

市長 町内会に関する対策を検討している。課題を解決する仕掛けが必要で、各町内会の課題や困りごとをまとめてメニュー化する。

Q. 幼稚園の預かり保育時間を30分延長できないか

A. ニーズ調査を踏まえ早急に対応する



ここを聞きました

- 全国学力・学習状況調査結果を子供たちの学力向上と学習状況改善に向けてどのように生かしていくのか
- 幼稚園の預かり保育の時間延長について
- ごみ焼却施設の現状と更新に向けた今後の方針について
- 旧「ゆ・ら・ら」と周辺施設との相乗効果を生かした神原スポーツ公園エリアの再生について

幼稚園の預かり保育時間延長について

宮田 小学校就学前の子どもの保育については、ライフスタイルの変化により幼稚園よりも保育園を選ぶ家庭が圧倒的に多い。周辺部の幼稚園では、最終の預かり時刻が午後5時30分であるため、共働き世帯では子どもを迎えに行く事が難しい。このために、やむなく保育園を選ぶというケースがある。現在の時刻から30分延長できれば地元の幼稚園に子どもを預けることができる家庭が増えると思うが対応はできないか。

健康福祉部長 現在、預かり担当職員を9名配置し、教員と預かり担当職員の時間外勤務で対応している。これには恒常的な保育士不足も影響している。今後さまざまな検討をしなければならぬ時期に入ってきたと考える。

宮田 検討する時期にきていると言いますが、2年、3年すれば周辺部の幼稚園は崩壊してしまう。もう少し危機感を持った答弁を求める。健康福祉部長 平成26年に就学前の子どもを持つ保護者のニーズ調査を実施している。それらを踏まえ早急に検討していきたい。



Q. 川面・巨瀬・中井の生活福祉バス運行時間と運賃の見直しを

A. 総合的な判断の中で対応したい



ここを聞きました

- 公共交通について
- 吉備国際大学との連携について
- 高齢者対策について

公共交通について

三村 川面・巨瀬・中井地区の生活福祉バスは本格運行開始から半年を経過したが利用率が非常に低い。原因は運行時間と運賃にある。早急に見直しができないか。

市民生活部長 この取り組みは、路線バスの利用の少ない昼間の便を見直し、広い区域を巡ることで多くの皆さんに利用いただくことを目的に始めた。過去に市街地への滞在時間の延長、医療機関や商業施設を細やかに回るルート変更を行っている。運賃については、全市的な取り組みが整った後、総合的な判断の中で見直しを図ってきたい。

吉備国際大学との連携について

三村 吉備国際大学の学生が減少している。本市は平成26年度に大学連携室を設置しているが、学生確保のために大学と連携して入学実績のある高校に向いてはどうか。政策監 大学と情報を共有する中で可能性のあるものがあれば、十分対応していきたい。

高齢者対策について

三村 本市の面積は広く大半が中山間地域である。一人暮らしの高齢者も多く、安否確認は地域住民の関心事でもある。市民に密着したサービスを行っているJA、郵便局、生協との「見守り協定」を締結することは可能か。健康福祉部長 本市でも、見守りや声掛けの協定を考えている。道路の異常、不法投棄、子供の見守りも含め包括的な協定も検討している。

Q. 空き家を市営住宅として活用しては

A. メリットデメリットを見つつ検討する



ここを聞きました

- 定住対策について
- 雇用対策について
- 教育のICT化について

公共交通中心のまちづくりを

石井 今後の公共交通整備は、車がなくても生活できるようなまちづくりを前提にすべきではないか。市長 公共交通機関のあるところを中心に移住を考えていく方向性はあると思っている。

石井 歩いて暮らせるまちづくりは、まちのにぎわいにも重要な意味を持つ。公共交通を車に代わる中心的な移動手段として考えるべきではないか。市長 通勤通学に関しては、人口がある程度集中してくることに

よって、公共交通の必然性は増してくると思う。そういう形のまちを作るのが、これからの公共交通を考える上で必要なことだと考えている。

Q. お互いの信頼関係に基づいて丁寧な対応をすれば、保護者・地域住民の同意はいただけるのではないかと
A. 賛否両論あっても子どもの教育環境をより早く整えた方が良い



ここを聞きました

- 防災情報の伝達手段について
- 住宅リフォーム、空き家活用の補助金、助成金について
- 学校統合について

学校統合について

石田 教育現場では一人一人に向き合い、児童生徒や保護者との信頼関係に配慮していただいている。学校統合は根本的に通う学校、教職員、友人が変わってしまうことではあるが、このように丁寧な対応をしていただければ同意を得ることはできたのではないかと。

教育長 現状では賛否両論である。学校統合の本来の目的を考え、子どもの教育環境を早く整えた方が良くと判断し、今議会に学校統合に関する議案を上程した。

石田 本市ではほとんどの中学校が小規模校であり、地域の方から学校統合の要望を伺うこともある。学校の存在は教育だけではなく地域活性化、定住にも関わることで

もあるので、学校配置については執行部や議会などが一緒になってビジョンもなく進めていくのでは問題点がよく一地域のことに矮小化される。また、住民同士のしこりを残してしまつては地域の一体感や行政や教育に対する信頼感を損なうことになるのではないかと。
教育長 明確な方針は出していませんが、これまでも議会では中学校の統合は避けることができないと答弁してきた。学校統合の答弁を作ることも問題点はある。本市では該当地域に説明に入り進めていく方式をとっている。

Q. 市民のために国にきっぱりと物言う市政を！
A. 地方の声を届けることは必要だが相手に響くタイミングが大切



ここを聞きました

- 市民の暮らしを守るため国にはっきり物を言う市政について
- 2015年農林業センサスの結果と本市農業の発展について
- 新たに選挙権を得た学生や高校生などの投票率向上を図る対策について

市民の暮らしを守る市政を

難波 共産党市議団の市民アンケートでは「国・県に市民の立場でキツパリと物言うべき」という意見が85%を占めている。市民の暮らしに係る5点について質問する。①消費税の引き上げは先延ばしでなく中止を求めよ。②老後の生活に欠かせない年金は減額しないよう求めよ。③農業を壊し食の安全などあらゆる分野に悪影響を及ぼすTPP協定からの撤退を求めよ。④市民・自衛隊員の命が危険にさらされる安保法制(戦争法)は憲法を踏みにじり日本を戦争する国に作り変える。廃止を求めよ。⑤マイナンバー制度は個人情報を利用する側は便利だが、プライバシー侵害、国家による管理統制の

強化、成り済まし、詐欺などの犯罪の危険増大と表裏一体である。廃止を求めよ。
政策監 ①消費税は社会保障、地方財源の充実という側面を持っている。将来の安定的財源である。②今の年金水準を維持すれば、今後現役世代の負担が増大する。年金の減額は現役世代に配慮した制度だ。③TPPは諸外国との中で議論され判断されたものであり、市としてはその影響を最小限に抑える努力をしていきたい。④平和を願う立場は市としていささかの狂いはない。安保法制は高度な国政の場での判断である。⑤マイナンバー制度の目的は行政の効率化、市民負担の軽減、公平公正な社会の実現にある。

Q. いつ、お金(税金)で人を集める政策から、経済縮小、人口減少社会を前提とした地域創生、経済再生のまちづくりに方向転換していくのか
A. 新図書館での新規雇用、雇用のミスマッチの解消、起業、営農支援など努力している



ここを聞きました

- 今の行政に求められる公共経営論とリーダーシップ論について

今の行政に求められる公共経営論とリーダーシップ論について

大森 合併後の公共経営における住民との協働のまちづくり、地域間格差、教育格差の是正、財政(地方交付税、合併特例債)のバランスとそこから生じる社会的矛盾、ジレンマに対する認識とその行政運営の公正性について聞く。

市長 新市を一体で考えることが重要。市民の間でその意識は徐々に醸成されている。活性化と閉塞感、その矛盾を解消するためには地域の潜在的可能性の再発見が重要。また、学校の統廃合の問題では、私が就任してから小学校7校が廃校に。その問題に関しては、

地域住民の方と一緒に進める。大森 人口減少、経済縮小を前提とした地域の持続可能性と域内総

生産、所得の確保についての認識、戦略について聞く。また、その手法において定量的分析は極めて重要である。昨年度のふるさと納税の結果を見れば、本市の方向性は一目瞭然。本市の強み弱みが分析できる、産業連関表による産業構造分析の活用と前例にとらわれない手法が必要ではないかと。
市長 地域内好循環の仕組みを確立するため商工会議所などと一緒に分析、連携、活用していく。
大森 縮小社会に対応した市民との協働まちづくり、行政の効率化、地域の課題解決を考えると、市の政策・意思決定に市民の代表である議会や市民が、そのプロセスに関わる仕組みづくり(議会の機能強化)が必要ではないかと。
市長 いい方向に進むのであれば異論は無い。

Q. 6次産業化を進め、特色ある地域農業を確立すべきでは
A. 県・市の補助制度を活用し、支援していきたい



ここを聞きました

- 農業振興について
- 観光振興について

小規模農家の生き残り策として6次産業化を進めてはどうか

森田 小規模農家が連携し、農産物の生産から加工・商品化までのシステム化を進め、小規模農家生き残りの施策とし、事業展開してはどうか。

産業経済部長 6次産業化が進めば農産物の生産も促進され耕作放棄地の解消にもつながると考える。市としても県及び商工団体・JAびほくをはじめ関係機関と連携し、支援していきたい。

事業の活動拠点として遊休公共施設の活用は考えられないか

森田 宇治地域で取り組んでいる雑穀研究会の6次産業化及び有害鳥獣処理加工に係る一体施設を遊休公共施設・遊休民間施設で整備

することはできないかと。
産業経済部長 市及び民間遊休施設において、他地域と同様施設所有者と交渉協議していきたい。

吉岡銅山と関連施設を「世界産業遺産」として登録してはどうか

森田 今回、高梁市の遺産群である吉岡銅山を世界的なエキスポ、また日本での世界産業遺産に係る直接担当者等が現地視察され、貴重な遺産群であるとの評価があった。この時期を捉え、登録に向けての検討を進めてはどうか。

市長 世界遺産登録に向けて次のステップへ進むとなれば地域住民の盛り上がり、一体感の醸成が理想的と考えるが、市の役割分担については、議会とも協議していきたい。

※1 産業連関表…ある地域内の1年間の経済活動について、産業間や産業と消費者などとの財・サービスの取引を基にした域内経済循環を明らかにしたもの。国・県では5年ごとに作成。域内経済構造を明らかにすることにより、地域の施策・事業の前後の経済波及効果分析などに活用ができる。
 ※2 産業構造分析…ある経済活動を行ったとき、それがどのようにその経済的影響を広げていくかを数量的に把握、分析すること。客観的なデータに基づき、地域の現状と課題を把握し、その特性に即した地域課題を抽出し、「地方版総合戦略」の政策立案・戦略のツールとして期待されている。

Q. 平成27年度分の図書購入はどのように行われたのか

A. 図書館流通センターが3万冊分リストアップした。その中から図書館司書が1万冊を選書し、市内の書店で購入した



ここを聞きました

- 災害から身を守るために
- 新図書館について
- 環境保全について

新図書館について

宮田 新図書館の進捗状況はどうか。

教育次長 当初は年内にオープンとしていたが、年明けにずれ込む見込みである。

宮田 図書館長の人選は進んでいるのか。

教育次長 地元に通じている適任者を市がCCCに推薦する事になっている。

宮田 他のCCC管理の図書館では、図書館には不適切な本や、中古本などが購入され大きな問題となっているが、どのような方法で行ったのか。

教育次長 昨年度の1万冊については、現在の中央図書館で不足し

ている分野の本を図書館流通センターが3万冊分リストアップし、本市の図書館司書が1万冊を選書した。購入は市内の書店で行っている。



新図書館内部イメージ

Q. 高梁市の将来展望と新総合計画後期基本計画について

A. 定住促進施策を最重要課題と捉えさまざまな施策を実施する



ここを聞きました

- 山田方谷先生の顕彰と観光について
- 高梁市の将来展望と新総合計画後期基本計画について

山田方谷先生の顕彰と観光について

小林 高梁市は山田方谷先生の大河ドラマ実現に向けた署名活動や、駅前へのブロンズ像の設置など「方谷先生のまち高梁」を推進している。中井町の方谷園は地域コミュニティによってこれまで支えられてきたが、維持管理の限界が生じている。市は方谷園と周辺の整備をどのように考えているのか。

政策監 方谷園の管理については、地元住民の御協力をいただいております。感謝を申し上げます。地元の方が誇りを持って公園等の整備をされており、この意気はやはり尊重させていただきたいと考えているが、できる支援があれば連携をして協力体制をとっていききたい。

高梁市の将来展望と新総合計画後期基本計画について

小林 地方が疲弊していく中で3つの空洞化が考えられる。一つ目は人の空洞化。二つ目が町の空洞化。三つ目が誇りの空洞化だ。人がいなくなればまちが寂れ、さらには地域コミュニティや地域意識の喪失につながっていく。そうさせないためにも地に足の着いた施策が必要不可欠と考える。

小林 後期基本計画期間の重点プロジェクトの一つに定住促進施策がある。子育て支援、ハッピーウエディング、住宅支援など手厚い支援がなされている。こうした中で核となる定住促進施策をどう捉え検討、実施していくのか。

市長 定住促進施策を最重要課題と捉えさまざまな施策を実施していく中で核となるべきものを検討していきたい。

Q. 備中中学校の統合について合意形成はできたのか

A. 子ども達に自分の能力を最大限伸ばすチャンスを与えたい



ここを聞きました

- 学校統合について

何をもちて合意形成なのか

川上 地元の合意がなされていないのに、なぜ6月議会に統合の議案を提出されたのか。教育長も折に触れて、「地元の合意が無ければ中学校の統合はできない」と発言している。市長も「地域住民としっかり話し合い対話をし、目と目を合わせながら議論を進めさせていきたい」と発言している。

しかし、結果として十分な合意のないまま議案を提出され、まさに議会の責任と言わなければならないのではないかと感じる。また、1177人の署名を付した統合に反対する陳情書も提出されている。

このような状況で何をもちて合意形成がなされたと言えるのか。

教育長 統合というのは、誰のため



備中中学校

めに何のためにするのかという、その一点だと考えている。将来ある子ども達が、自分の能力を最大限伸ばす、そういったチャンスを与えられなければならない。そのチャンスをつくってやるのが大人の我々であると考えていた。将来的に子ども達を育てていくという、そのことが一番のポイントであると考えている。

Q. 新図書館の空間設計業務委託について教育委員会内での対応はどうだったのか

A. 不手際により教育委員に迷惑をかけた



ここを聞きました

- 備中中学校の統合について
- 高梁市図書館について
- 宇治高校、松山高校の今後の発展について
- 三菱自動車関連事業者と従業員の支援について

備中中学校の統合について

石部 今まで「地元合意がないと進めない」としてきた学校統合であるが方針は変えたのか。

教育長 方針は変えていない。

石部 今回の備中中学校の統合は地元合意は取れているのか。

教育長 合意がいただけた方と、いただけない方がいる。

石部 「合意が得られれば平成30年4月統合に向けて進めたい」と小中学校合同PTA役員会での記録があるがどうか。

教育長 教育委員会には伝わってきているが、参加していない。

石部 統合に合意できないという1177人の署名が上がってきているがどう捉えるのか。

市長 署名の取り方はいろいろある。どういう説明をされて署名を取ら

れたのか分からないので、他にも情報をいただいで総合的に判断した。

空間設計業務委託について

石部 約2億円の空間設計の業務委託が議案として計上されている。教育委員会での議論では、「委員会に提出された資料が乏しいので判断がつかかねる」「単価的・形状的なものもない」「このまま議会に提案してよいのか」などの意見が委員から次々と出された。議案は教育委員会でも内容が分からないまま議決されたがどうか。

教育次長 教育委員会での金額や図面等の資料不足は不手際で委員に迷惑をかけ反省している。

石部 教育委員会は、分からないなら納得できるまで議論してほしい。CCCへの指定管理の透明性も問われると考える。

Q. 市道、農林道の修繕等要望の未実施箇所についてどのように対応していくのか

A. 未実施箇所については、現在159件あり、現場を調査し、順次対応していきたい



黒川康司

ここを聞きました

- 市道、農林道の修繕等要望について
- 町内会の維持について

黒川 市道、農林道の修繕等要望について、未実施箇所については、どのように対応していくのか。

産業経済部長 未実施箇所については、現在159件あり、リストを作成している。現場を調査し順次対応していきたい。

また、現地調査をした結果、土地の地元調整ができておらず未実施となっている場所もある。

黒川 市道の場合は、道路認定をしており市が維持管理をしているのが当然だと思っている。道路は、人が物が往き来するための非常に重要なインフラであると思っっている。限られた財源の中で、箱物ばかりでなくバランスの取れた行政運営を望む。

黒川 町内会の維持について、現在、市内には698町内会があり、

そのうち6割が10戸以下、さらに全体の11パーセントに当たる79町内会が5戸以下となっており、高齢化と相まって従来から行っている町内会活動ができていない状況にある。このため、3月議会の所信で市長は「新たな仕組みと支援策を構築していく」と述べたが、具体的に内容を問う。

市長 地域がどのようなことで困っているか反映できるメニューを考えており、総合的にまともなメニューかと思っっている。メニューもできるだけお示しさせていたただくかと思っっている。現在、各課が検討している状況である。

黒川 市民に優しい行政運営をお願いしたい。



第7回議会報告会を開催しました

4月19日 高梁・巨瀬・中井・川上
4月20日 落合・有漢・吹屋・西山

第7回の議会報告と意見交換会を、4月19日・20日の両日に開催しました。今回初めて訪れた吹屋や西山などの地域を含めた8会場に、126人が参加しました。報告会では3月議会の報告が行われ、意見交換会では「高梁市といえば『〇〇』である」をテーマに、自分の地域について魅力や課題を話し合いました。

市民からのご意見

- 図書館の運営をCCCに任せるのは「話題づくり」とし、かと思えない。
- 議会は地域の人の思いを具現化するため大いに勉強、努力を。
- 報告会を続けてほしい。議員が何を考えて行動しているのか知りたい。
- せっかく報告会を実施されているが、いまいち市民の関心度が低いことが気になります。広報の仕方の問題なのか、それとも市民の市政への関心の低さなのか。諦めなのか、とても残念です。
- 毎回報告会に参加するが、もうすでに決まったことを聞くだけ。決まる前に聞くなり、意見を言える機会が欲しい。

行政視察についてきました！

市民生活委員会 (管外行政視察)

5月16日 岐阜県可児市
17日 愛知県大府市

岐阜県可児市が展開している「支え愛地域づくり事業(Kマネー事業)」を視察しました。この事業は、高齢者や子育て世代の安心づくりを支えるボランティア活動に対して、ポイントが付与されるというものです。

育室が設置されました。季節などで保育対象児童が増減することや、依頼をしたものの、症状が改善され不要になるなど、運営面での苦労はあるとのことでした。

産業経済委員会 (管内行政視察)

6月21日 川上町地頭
備中町平川

川上町地頭の地域優良賃貸住宅整備事業用地は、市民から寄付された土地を、5区画分の用地として整備するというもの。今年度はそのうち2戸を建設します。この住宅は、主に子育て中の世帯を対象に、良質な子育て環境を提供するための事業で、市内ではこれが5カ所目になります。募集は来年5月ごろの予定です。

備中町平川では、新規就農団地造成事業用地について担当者から説明を受け

愛知県大府市で行われている病児・病後児保育の支援事業を視察しました。派遣型は、希望者が事前にNPO法人に登録しておけば、必要な時に民間事業者から人が派遣してもらえます。施設型は、民間病院内の専用スペースに、保



岐阜県可児市「Kマネー事業」のイメージ図



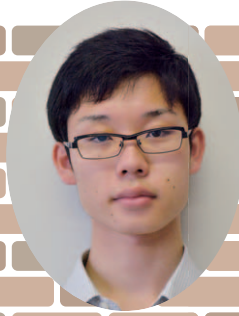
▶地域優良賃貸住宅整備事業用地 (川上町地頭)



▶新規就農団地造成事業用地 (備中町平川)

議会報告会の結果は高梁市議会公式サイトで見ることができます
<http://www.city.takahashi.okayama.jp/site/gikai/>





高梁城南高等学校 コラボレートX 第10弾 高梁市議会

今回の表紙を飾っていただいたのは、高梁市観光協会の「備中たかはし松山踊り」ポスターコンテストで最優秀賞に選ばれた、高梁城南高等学校デザイン科2年生の田坂卓巳（たさか たくみ）さんの作品です。

作品のポイントは備中松山城の存在感と女性の凛々しさ。苦労した点は、肌の塗りや備中松山城の細かな書き込み、そして文字のレイアウトとのこと。将来の夢はまだ決まっていないけれど、デザインで学んだ事を生かせる職業を選びたいとのことでした。最後に一言との質問には「このポスターを見て、多くの方に松山踊りに来てほしい」そう語ってくださいました。今回の受賞を糧として、次の一步を力強く踏み出してほしいと思うのでした。

○議会を傍聴しませんか○

本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の活動がよく分かると思います。

気になるスポット The spot of Takahashi

順正寮跡

1895(明治28)年に福西志計子らにより順正女学校の校舎として建設された順正寮。1970年ごろには、高梁市立図書館として使われていました。老朽化が激しかったため、2016年3月に床板や壁が新調され、建設当時の姿を取り戻しました。今後はイベントスペースとしての活用が計画されています。



政治家の寄付は禁止! 有権者が求めることも 禁止されています!

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止されています。



編集後記

今年は選挙があるため、今の編集委員で作る議会だよりは次号で最後となります。市議会の活動を知っていただくためにも、読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心掛けてきたつもりですが、まだまだ道半ばといったところです。これからも、市議会では高梁市民の代表として、市民に寄り添った分かりやすい情報公開に努めていきます。ご意見ご感想など、お待ちしております。

(石井 聡美)

編集

議会広報調査特別委員会

- 委員長 宮田 公人
- 委員 宮田 好夫
- 委員 森田 一夫
- 委員 大森 誠生
- 委員 石部 一夫
- 委員 石田 聡美
- 委員 石井 聡美

☆ご意見はいつらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎0866-1210276